



令和2年度 第4回企画展

江戸のデザイン帖

～ 雛形本と浮世絵に見る意匠の美～

2021年1月19日[火]～3月28日[日]

Part1 1月19日[火]～2月21日[日]

Part2 2月23日[火・祝]～3月28日[日]

主催：静岡市東海道広重美術館（指定管理者 特定非営利活動法人ヘキサプロジェクト）
協力：紺文シルク株式会社

展覧会概要

現在、われわれが「きもの」や「和服」と呼んでいる日本伝統の衣服は、江戸時代以前においては一般に「小袖」と呼ばれていました。形態に重きを置く西洋の衣服に対し、その背面を中心とした意匠に重きを置く日本の「小袖」。本展では小袖の模様にもみられる意匠の美を江戸時代の浮世絵とファッションデザインの見本帳でもある雛形本で紹介します。

開館時間 午前9時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）
年末年始（12/28～1/4）

入館料 一般520円（410円）
大学生・高校生310円（250円）
中学生・小学生130円（100円）
※静岡市在住または通学している中学生以下及び、
静岡市在住の70才以上の方は無料
※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料
※（ ）は20名以上の団体料金

アクセス **〈電車をご利用の場合〉**
JR東海道本線「由比」駅下車後 徒歩25分、タクシー5分
〈お車をご利用の場合〉
東名高速清水ICから国道1号経由約20分
●美術館駐車場 21台（由比本陣公園 無料駐車場）



静岡市東海道広重美術館
SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

大展示室 | 江戸のデザイン帖 ～雛型本と浮世絵に見る意匠の美～

● 小袖模様と浮世絵

美人画、役者絵、名所絵などさまざまなジャンルで描かれた浮世絵版画の中には当時に流行った実際の意匠、芝居の役柄や物語を演出する舞台衣装、また浮世絵師によってデザインされた謎解き要素を持つ架空の意匠など、江戸の人々を魅了した様々な小袖意匠が描き込まれています。本展を通して現代の「きもの」にも息づく浮世絵に見る意匠の美をお楽しみください。

幾何学文様

円や多角形、直線や曲線を重ねたり連続させて作ったもの



格子文様
(三升格子)

Part1 展示作品 歌川広重・歌川豊国 III 『東都高名會席盡 百川楼 浮世伊之助』当館蔵

文字文様

文字をデザインとして使用しているもの



角字紋
(嵐)

Part1 展示作品 歌川豊国 III 『東海道五十三次の内 三島 金谷金五郎』当館蔵

人物・器物文様

人物や生活道具などの器具・道具類を文様としたもの



将棋の駒

Part2 展示作品 歌川広重・歌川豊国 III 『雙筆五十三次 三嶋』当館蔵

役者文様

歌舞伎衣装を元にしたものや、役者が考案した文様、役者の名前を暗示させる謎染めなど

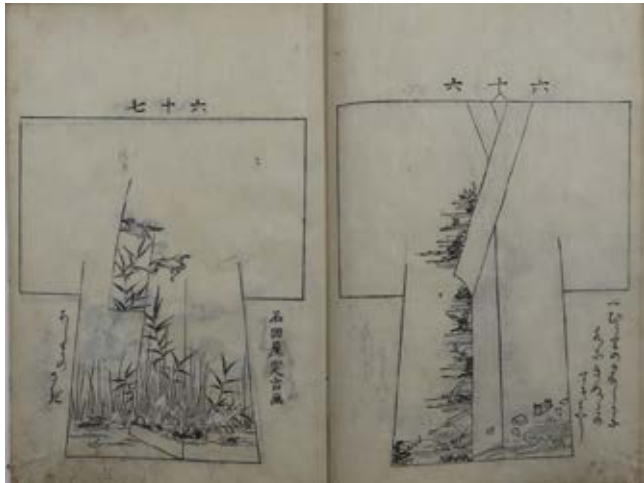


かまわぬ
(鎌+輪+ぬ)

Part2 展示作品 歌川豊国 III 『見立五行の図』個人蔵

小展示室 | 雛形本に見る意匠の美

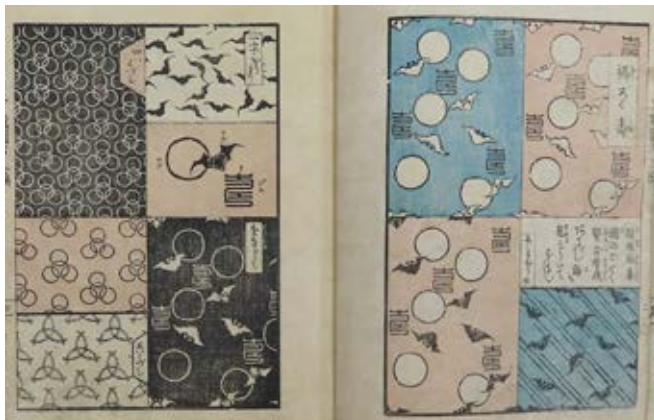
もともと「雛形」という言葉は、小型の標本、あるいは工芸の見本・手本などを指し、各分野における雛形本が存在します。本展では江戸時代には出版された小袖の「雛形本」を紹介し、現在のファッションブックともいえる雛形本に見る意匠の美をお楽しみください。



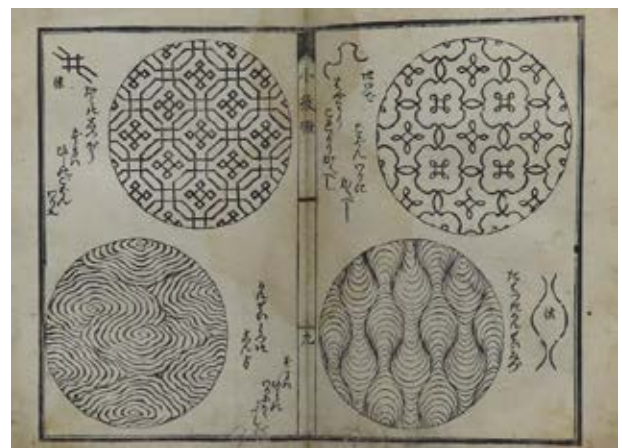
『新雛形千歳袖下』個人蔵



『当流七寶 常盤ひいなかた上』個人蔵



『萬職図考 三編』個人蔵



『新形小紋帳』個人蔵

関連企画 1: 当館学芸員によるギャラリートーク

□ 日 時 : 1月31日(日)、3月7日(日) 13:00~13:30

□ 参加費 : 無料 ※入館料別途

- ・感染症対策のため、定員を10名とさせていただきます。
- ・定員を超えた場合、回数を分けての開催となります。
- ・ミュージアムショップにて整理券をお受けいただき、開催時間になりましたらエントランスホールにお集まり下さい。

関連企画2：講演会「きものの色と模様」

江戸のファッションブックである雛形本を参考に、時代と共に変化するきものの色と模様の解説を行います。

- 日 時：2月11日(木・祝) 13:30～15:00
- 参加費：無料 ※入館料別途
- 定 員：10名
- 申し込み：WEBサイト・電話(054-375-4454)にて申し込み
(先着順※定員になり次第受付を終了します)

講 師 萩原敏司(株式会社紺文シルク会長)

リビングカルチャーセンターで「きものの文化」講座を多く開催、令和3年、「～伝えたい我が家の紋章～家紋ときもの」講座開催予定。又、日本大学三島校「芸術鑑賞会」、グランシップ「高松宮妃おひなさま展 ギャラリートーク」など講師としても活躍。第895回「開運!なんでも鑑定団」(テレビ東京)にもきもの鑑定士として出演。著書「扇の美展」「文化イベント史」がある。

江戸時代を通じて約165種類くらいの雛形本が出版されていると言われます。江戸の女性に大変人気があり、残されているものは、破本が多く題箋付きの美本は僅かで、鑑賞する機会は少なくなりました。

今日、「友禅染のきもの」と言われていますきものの模様は、江戸時代の中期のデザイン帖に多く見ることができます。幕府からたびたび出される贅沢を禁止する厳しい「奢侈禁止令」により、きものの色、模様にも時代を通じて変化がみられます。江戸後期になると「四十八茶百鼠」といわれる地味な小紋、縞柄などが「粋好み」としてもはやされました。

今回は、江戸のファッションブックを参考に色と模様を解説させていただきます。

PRESS RELEASE

広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下6点のデジタルデータをご用意しております。
ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。



1



2



3



4



5



6

■作品およびクレジット

1. 展覧会ポスターイメージ …… © Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art
2. 歌川広重・歌川豊国Ⅲ …… 『東都高名會席盡 百川楼 浮世伊之助』静岡市東海道広重美術館蔵
3. 歌川豊国Ⅲ …… 『東海道五十三次の内 三島 金谷金五郎』静岡市東海道広重美術館蔵
4. 歌川広重・歌川豊国Ⅲ …… 『雙筆五十三次 三嶋』静岡市東海道広重美術館蔵
5. 歌川広重 …… 『江戸名所五性 両國の花火』静岡市東海道広重美術館蔵
6. 歌川豊国Ⅲ …… 『見立五行の図』個人蔵

〈使用条件〉

- ※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- ※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。
- ※各画像のキャプション及びクレジットを明記の上、ご使用ください。
- ※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。
- ※弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

江戸のデザイン帖

～雛型本と浮世絵に見る意匠の美～

広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

FAX.054-375-5321 E-mail: info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

1. 展覧会ポスターイメージ …… © Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art
2. 歌川広重・歌川豊国Ⅲ …… 『東都高名會席盡 百川楼 浮世伊之助』静岡市東海道広重美術館蔵
3. 歌川豊国Ⅲ …… 『東海道五十三次の内 三島 金谷金五郎』静岡市東海道広重美術館蔵
4. 歌川広重・歌川豊国Ⅲ …… 『雙筆五十三次 三嶋』静岡市東海道広重美術館蔵
5. 歌川広重 …… 『江戸名所五性 両國の花火』静岡市東海道広重美術館蔵
6. 歌川豊国Ⅲ …… 『見立五行の図』個人蔵

貴社名：

媒体名：

ご担当者名：

TEL：

FAX：

E-mail：

画像到着希望日： 月 日

掲載予定日(コーナ名)： 月 日

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展できませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像トリミングや別の画像との合成、文字乗せ等は遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを明記の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただき、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

本美術館及び展覧会、イベント等をご紹介いただく際は、連絡をお願いします。

TEL.054-375-4454/FAX.054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp